

第13回日本小児医療政策研究会 市民公開講座

少子化社会に生きる子どもの健やかな育ちを支える
～子どもと家族への支援につなげるために～



日時：平成29年3月11日(土) 13:00～18:00

場所：東京慈恵会医科大学 大学1号館3階講堂 (東京都港区西新橋3-25-8)

参加費：無料 (どなたでも参加できます)

13:00～13:10 開会の挨拶

武田淳子 (第13回日本小児医療政策研究会 大会長、日本小児看護学会理事長、宮城大学看護学部)

高橋孝雄 (日本小児科学会 会長、慶應義塾大学医学部小児科教授)

衛藤義勝 (日本小児医療政策研究会 代表幹事、東京慈恵会医科大学名誉教授)

13:10～13:40 ■特別講演1■ 座長：衛藤義勝 (日本小児医療政策研究会 代表幹事)

新世代の小児科学の使命について

高橋孝雄 (日本小児科学会 会長、慶應義塾大学医学部小児科教授)

13:40～14:10 ■特別講演2■ 座長：高橋孝雄 (日本小児科学会 会長、慶應義塾大学医学部小児科教授)

少子化時代の子育ての現状と政策 (仮)

神ノ田昌博 (厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課課長)

14:10～14:40 ■教育講演■ 座長：武田淳子 (宮城大学看護学部)

子どもの健やかな育ちを支えるこころのケア (仮)

奥山真紀子 (国立成育医療研究センター副院長、こころの診療部部長)

14:40～16:40 ■シンポジウムI：虐待への対応 地域と医療の現場から■

座長：奥山真紀子 (国立成育医療研究センター副院長、こころの診療部部長)

日沼 千尋 (日本小児看護学会副理事長、東京女子医科大学看護学部)

脳外科医から見た虐待

荒木 尚 (日本医科大学附属病院救命救急科)

院内虐待対策チームの活動と課題

木下あゆみ (四国こどもおとなの医療センター小児科)

小児救急外来における養育支援

大島 誠 (総合病院国保旭中央病院小児救急看護認定看護師)

福祉の現場から

小林幸恵 (横須賀市こども育成部児童相談所保健師)

親の生活を支える

周 燕飛 (独立行政法人労働政策研究・研修機構主任研究員)

16:40～17:50 ■シンポジウムII：在宅における支援■

座長：田中総一郎 (医療法人財団はるたか会あおぞら診療所ほっこり仙台院長)

濱中 喜代 (岩手保健医療大学準備室長)

小児慢性特定疾病の子どもの現状と今後の課題

盛一享徳 (国立成育医療研究センター臨床研究開発センター)

小児在宅医療への支援

梶原厚子 (医療法人財団はるたか会 NPO 法人あおぞらネット理事)

短期滞在施設『もみじの家』での試み

阪井裕一 (もみじの家/埼玉医科大学教授)

家族の立場から

吉竹琴水

17:50～ 総括

日沼千尋 (東京女子医科大学教授)

衛藤義勝 (日本小児医療政策研究会 代表幹事)

閉会の辞

武田淳子 (第13回日本小児医療政策研究会大会長)



主催：日本小児医療政策研究会 & 日本小児看護学会

共催(予定)：日本小児科学会、日本小児科医会、日本小児保健協会、日本小児外科学会、

後援：厚生労働省、こども難病ネットワーク、NPO 法人日本小児医療政策研究センター